

やすらぎ苑だより

No.101



社会福祉法人猿払福祉会
 ざるふつやすらぎ苑
 宗谷郡猿払村鬼志別北町70番地
 TEL: 01635-3-4046
 2024年4月19日発行

1月～3月の誕生者ご紹介



港 利雄さん
(93歳)



橋本 悦子さん
(90歳)



石川 美枝子さん
(92歳)



菅井 美恵子さん
(86歳)



米澤 スズエさん
(101歳)



高橋 禎治さん
(70歳)



佐藤 キミコさん
(95歳)



飯田 秀子さん
(86歳)



澤向 良子さん
(86歳)

新規入所者のご紹介



田中 チヨ子さん
(93歳)



木村 キミさん
(83歳)



新規採用職員のご紹介



中村 いずみ (パート歯科衛生士)

利用者さんの口腔ケアをさせていただくことになりました歯科衛生士の中村いずみです。
 他の職員のみなさんと協力して口腔ケアを日常的に定着させていけたらと思っていますので、
 よろしくお願ひします。

節分行事食



太巻き寿司
 花巻と三つ葉のすまし汁
 がきあげ
 茶碗蒸し
 煮豆
 緑鬼フルーチェ
 (メロン味)



節分といえば鬼退治の豆まきですが鬼には、「赤・青・緑・黒・黄」の5色の鬼がいるといわれています。
 なかでも「緑鬼」は不健康の象徴であり、日頃の不摂生を反省し、体の健康を願ひながら退治するといひそうです。
 毎日元気で暮らせるように、しっかりと食べて緑鬼を退治して欲しいという願ひを込めて提供しました。

寄付金品の御礼

- ・ 榛沢 あけみ様
- ・ 米澤 利明様
- ・ 東宗谷農協女性部様
- ・ 須藤 武保様
- ・ よつ葉乳業株式会社様
- ・ その他多くの皆様

ありがとうございました

デイサービス



デイサービスには、日替わりで個性豊かな鬼が登場しました！



存分に豆まきを楽しんだ後は、可愛い小鬼と記念撮影♪

ユニット



今年の節分は、ABユニットで協力して鬼退治！
迫力のある鬼に負けないよう、豆をまく手にも力が入りました。



ユニットでフルーツヨーグルト、ホットケーキを作りました♪
包丁遣いは手がしっかり覚えているようです。



ご夫婦で仲睦まじく、
おひな様になって2ショット

米澤スズエさん 祝101歳



米澤スズエさんが2月20日に101歳のお誕生日を迎えられ、
ユニットでお誕生日会を開催し、職員・利用者の皆様で盛大にお祝いしました。
ご家族からのプレゼントのお花も飾らせていただき、華やかな雰囲気になりました。

キャンドルを力いっぱい吹き消した後は、
最初のケーキカットも米澤さんにお願いをしました。
いちごたっぷりのケーキをお腹いっぱい召し上がり、
「来年も楽しみ」とお話をされていました。

社会福祉法人猿払福祉会事業計画

2024年度
(令和6年度)

重点課題

- (1) 「個別ケア」を基本とする利用者寄り添う介護の提供
- (2) 「働きやすい環境作り」「職員力向上」の取り組み
- (3) 情報公開と地域連携・地域貢献の推進
- (4) 非常時の対策と施設の営繕計画
- (5) 介護報酬改定への適切な対応
- (6) 開かれた施設を目指す上での感染症対策

法人活動内容

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ①理事会・評議員会の適切な開催 | ②内部監査の実施（四半期毎及び決算時期） |
| ③苦情や要望への適切な対応 | ④目標稼働率の達成、適切な加算の取得 |
| ⑤計画的な予算の執行と経費の削減 | ⑥介護職員等処遇改善加算の取得 |
| ⑦適切な口腔衛生管理の実施 | ⑧事故防止と感染症予防、虐待防止の徹底 |
| ⑨採用活動と就学資金貸付制度の運用 | ⑩子育て職員のサポート、シニア人材の活躍推進 |
| ⑪資格取得支援 | ⑫職員育成につながる研修への参加 |
| ⑬広報誌・ホームページによる情報公開、発信 | ⑭事業継続計画の運用、見直し |
| ⑮営繕計画の立案と実施 | ⑯地域における公益的な取り組みの実施 |
| ⑰働きやすい環境づくり | ⑱各種委員会の適切な開催 |

事業概要

- 【施設サービス】
- ①特別養護老人ホーム（定員30名）
- 【在宅サービス】
- ①訪問介護事業所
 - ②地域密着型通所介護事業所（定員10名）
 - ③短期入所介護事業所（定員9名）
 - ④居宅介護支援事業所
 - ⑤外出支援サービス事業
 - ⑥配食サービス事業

ごあいさつ

社会福祉法人猿払福祉会
理事長 木村 幸栄



令和6年度が始まりました。前年度はご利用者様ならびにご家族様、地域の皆様のご協力とご支援を賜り当施設も大過なく過ごす事ができました。皆様には、心より感謝申し上げます。

3年に1度の介護保険制度改正が行われ、今年度より新たな枠組みの中で事業運営に取り組んでおります。今後益々人材確保が難しくなる見込みの中、介護現場のICT化を進めるなど、生産性の向上を図るために様々な施策がとられております。勿論取り入れられるものは可能な限り活用していく必要があります。

その大切さもさることながら、介護という行為はテクノロジーが人に替わることが出来ない事柄も多いため、実際に関わる職員の育成が最優先であることに変わりはありません。

また、以前から指摘のある通り介護産業の賃金は他産業に比べ遅れをとっております。さらに最近は他産業が大幅な賃上げを積極的に行っております。介護事業は介護保険の枠組みの中での運営のため、独自に対応する事は難しく非常に厳しい状況ではありますが、今回の改正の大きなポイントでもあります。介護職員等処遇改善加算の1本化に対し適切な対応を図り、職員の定着化に取り組んで参ります。

経営目標の1つにもありますように「共同生活の中にあっても、その人らしい生活が常に確保されるよう、個性を尊重し、感ずる心、思いやる心を大切にいたします」を目指し、開かれた社会福祉法人として地域社会に積極的に貢献し、共に地域共生社会実現のために取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも、変わらぬご愛顧、ご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。